学校番号	1015

令和８年度　家庭科

教科	専門家庭	科目	服飾手芸	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	一生使えるお裁縫の基本（主婦の友社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

さまざまな被服製作に関心をもち、積極的に制作に取り組みましょう。
・被服製作に関する知識と技術を身につけます。
・被服製作の技術と実践的な態度を身につけます。
・作品を意欲的、創造的に製作しましょう。

2　学習の到達目標

実践的・体験的な学習活動を通して、被服を創造的に製作し、感性豊かな服飾作品へ活用することができる資質・能力を育成することをめざす。
【知識及び技能】
・被服製作および着装に必要な知識と技能を身につける。また、手芸の種類と特徴及び各種手芸の技法などについて理解するとともに、関連する技術を身につけるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
・被服製作や手芸の美的価値及び製作工程に関する課題を発見し、手芸作品の製作と活用を合理的かつ創造的に解決する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】
・被服製作を通して自ら学び、創造的な製作と服飾への活用に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	被服や手芸の種類、特徴、変遷、技法などについて理解を深めるとともに、知識・技術を身につけている。	服飾への活用を想定した手芸品の製作について生活の充実向上を図るための課題を見出し、その解決をめざして思考を深め、適切に判断し、工夫し創造する能力を身につけている。	被服や手芸作品の製作を通してよりよい生活の構築に向けて、自ら学び課題を発見し解決しようとする態度や、生活の質の向上と社会の発展に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	刺しゅう ゆかた製作	手芸作品の製作 ・構造の理解 ・製作、縫製、仕上げ ・活用の工夫 被服構成について ・平面構成と立体構成 ・ゆかたの歴史と変遷 ・和服の部位の名称 ゆかた製作 ・裁断 ・ミシンの使い方	a: 袋物や平面構成の衣服の特徴について理解し、製作に必要な知識・技術を身につけている。 b: 現在の服飾への活用としての問題を見出して課題を設定している。 c:手芸作品の活用について課題の解決に主体的に取り組もうとしている	製作物 ワークシート 小テスト 実技テスト 定期考査	製作物 ワークシート 定期考査	観察 ワークシート
2学期	ゆかた製作	ゆかた製作 ・ミシン縫い ・アイロンがけ (きせをかけるなど) ・手縫い(耳ぐけ)	a:平面構成の衣服について理解し、和服の製作技術を身につけている。 b:和服の構成から現在の服飾への活用としての問題を見出して課題を設定している。 c:課題の解決に主体的に取り組もうとしている	製作物 ワークシート 実技テスト	製作物 ワークシート	観察 ワークシート
3学期	ゆかた製作・着付け	・ゆかた仕上げ(本ぐけ) ・着付け ・ゆかたの畳み方 ・(羊毛フェルト作品製作)	a:和服の製作技術および着装や管理に必要な知識技術を身につけている。 b:和服の基本の着装から現在の服飾への活用としての問題を見出して課題を設定している。 c:課題の解決に主体的に取り組もうとしている	製作物 ワークシート 実技テスト	製作物 ワークシート	観察 ワークシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度